

共産党議員の国会質問

埋め立て地取得過程は

関電原発マネー還流 藤野氏が追及

藤野保史議員は3日、衆院経済産業委員会

で、関西電力の原発マネー還流疑惑にかかわり、関電の公有水面埋め立て地の取得にかかわる問題を関電の森本孝社長に直接たずねました。

高浜原発の建設時、

「国民公有の財産」で

ある公有水面埋め立て

地が次々と用途変更さ

れ、関電に転売されて

います。藤野氏は、転

売には中央政財界とも

深いつながりがあった

福井財界のトップの加

藤尚「若狭開発」代表

取締役（当時）や、関

電幹部との金品授受に

かかわった森山栄治高

浜町元助役が中心的役

割を担ったことを指

摘。公有水面埋め立て

地が関電にわたったプ

ロセスについて明らか

にするよう迫りました。

関電の森本社長は

「弊社と加藤尚氏との

関係は確認できなかつ

た」などと答弁。関電

が高浜町と公有水面埋

め立て地の売買契約を

結んだ時期に関電から

高浜町への寄付金が急

増していることについ

ても「寄付金は個別の

案件ごとに必要性を

吟味して、慎重に判断

して支出している」と

しか答えませんでし

た。

藤野氏は「関電の社

長であれば、何が起き

たのか答えられる。し

っかり調べる必要があ

る」として、原発マネ

ー還流の闇にきちんと

メスを入れるよう求め

ました。



藤野保史議員